

「男女でつくる元気な和歌山」ポスターコンクール 優秀賞作品

☆ 小学生低学年の部



おちあゐ もか さん
落合 萌朱 さん

(有田市立保田小学校1年)

赤ちゃんを産めるのは、ママだけだけど、ママだけが育てるのではなくて、力を合わせて、育ててほしいと思ってかきました。



くりた こうせい さん
栗田 航成 さん

(和歌山市立西脇小学校2年)

男のほうがおもいけど、男も女もがんばっている。



さくま がんじ さん
佐久間 巖志 さん

(和歌山市立高松小学校1年)

おんなのひととおとこのひとがいっしょにちからをあわせて、どろぼうをつかまえてる。

☆ 小学生高学年の部



おちあゐ ゆな さん
落合 結菜 さん

(有田市立保田小学校4年)

それぞれの性別に合った仕事はあると思うけど、自分がしたい仕事を選ぶ自由はあると思ったのでかきました。



しみず ゆうたろう さん
清水 悠太郎 さん

(和歌山市立宮小学校6年)

お母さんにカレーを作れるよ。

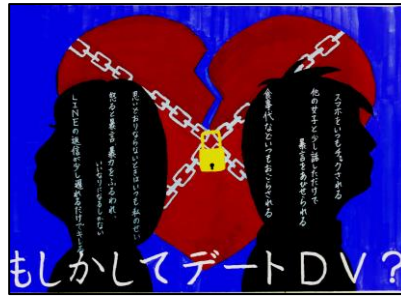
☆ 中学生の部



なかやま かなこ
中山 叶子 さん

(和歌山市立貴志中学校3年)

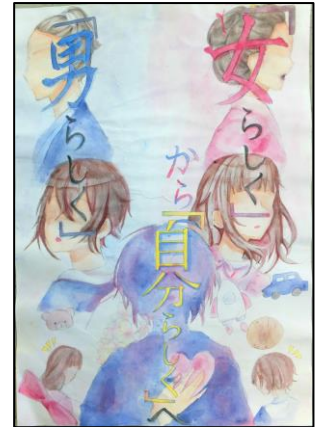
DVはレッドカードです。そく退場です。絶対してはいけないことです。



いしだ あきな
石田 晶愛 さん

(田辺市立高雄中学校1年)

デートDVになっている男性と女性がおたがい思っていることについて、かきました。



ゆかわ ゆうな
湯川 柚那 さん

(和歌山市立紀伊中学校2年)

男らしく、女らしくと分かれていたところから、それを交じわらせたようなものになっている絵にしようと思い、描きました。男らしく、女らしくって何だろうと思うところもありましたが、そういった偏見等はなくしてほしいと思いました。水彩で描いたので、紙がでこぼこしてしまい、水で飛ばそうとしたのですが、失敗して余計に酷くなってしまったのが残念です。

☆ 高校生の部



かわくち れな さん

(和歌山市立和歌山高等学校2年)

DVをされている女性の恐怖を黒い怪物で表しました。くり返しDVを受け、女性も自分にも悪いところがあるかもと思うほど、自我を失ってしまう。それを、DVの怖さを表現しました。



ほりくち せいや さん

(和歌山市立和歌山高等学校2年)

たくさんの歯車をかみ合わせ、男女が協力して仕事をこなす社会をつくりあげているということを表しました。



たなか はるい さん

(県立和歌山商業高等学校1年)

男の人は働いて、女の人は家事や育児をするという偏見がなくなればいいのになと思います。このポスターを描きました。共に助け合うことが今の社会に必要なだと思います。



たむら まゆ さん

(県立和歌山高等学校3年)

恋人からデートDVの被害を受けている女の子を描きました。身体的には暴力や束縛を受けているのに、ケイタイからやさしい言葉が送られてきて、女の子はそれしか見えていない様子を表現しました。